

2017年3月期第1四半期 ご参考資料

日本通運株式会社
経営企画部(IR)

I. 経営状況		
A. 2017年3月期第1四半期決算の概要	P. 1	
B. 新報告セグメント	P. 2	
C. セグメント別状況	P. 3-	
II. 外部環境の変化		P. 7
III. 2017年3月期の業績予想		
A. 連結業績予想(修正後)	P. 8	
B. セグメント別状況(修正後)	P. 9-	
C. 外部要因の想定(2Q以降)	P. 13	

2016年7月29日

I. 経営状況



A. 2017年3月期第1四半期決算の概要

1) 概要 (連結)

(単位: 億円、%)

	2017/3期 1Q実績 ①	2016/3期 1Q実績 ②	増減額 (前年比) ③=①-②	増減率 (前年比) ④=③÷② X100	上半期予想 (5/10 発表) ⑤	進捗率 ①÷⑤ X100	差額 ⑤-①	通期予想 (5/10 発表)
売上高	4,495	4,743	△248	△5.2	9,350	48.1	4,854	19,300
営業利益	107	105	2	2.1	235	45.9	127	570
経常利益	135	132	3	2.4	278	48.9	142	630
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	73	81	△8	△10.1	165	44.7	91	360

(億円未満切捨て)

2) 連結経営指標 ()は前年同期実績

・売上高営業利益率 2.4% (2.2%) ・売上高経常利益率 3.0% (2.8%)

【ご参考】 ()は前年度実績

・ROA 2.4% (2.4%) ・ROE 7.0% (6.8%)

※ 当期純利益は通期予想、自己資本および総資産は前連結会計年度末と当期連結会計期間の平均値を使用し算出しております。

◇事業環境に関する認識と確認(経済環境)

個人消費の伸び悩みや、中国経済の成長の鈍化に加え、英国のEU離脱が国民投票で可決された影響により、円高・株安が進行する等、景気は停滞感を強め、先行き不透明な状況で推移。

◇事業環境に関する認識と確認(物流業界の状況)

国内貨物は、企業収益の下振れや在庫調整にともなう生産の落ち込み等から、荷動きに力強さを欠き、国際貨物は、米国、アジア向けを中心に輸出貨物が減少する等、総じて低調に推移。

I. 経営状況

B. 新報告セグメント

旧報告セグメント

運 送	国内会社	複合事業
		警備輸送
		重量品建設
		航空
		海運
	計	
	海外会社	米州
		欧州
		東アジア
		南アジア・オセアニア
計		
計		
販売		
その他		



新報告セグメント

ロ ジ ス テ ィ ク ス	日本
	米州
	欧州
	東アジア
	南アジア・オセアニア
	計
	警備輸送
	重量品建設
	物流サポート

注)物流サポート：
日通商事、日通総合研究所、
日通キャピタル、日通不動産、
キャリアロード、日通自動車学校、他

新経営計画のスタートに伴い、新たな区分で開示。

I. 経営状況



C. セグメント別状況

1) 日本

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比		業績予想(5/10発表)対比			
	17/3期	16/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	2,795	2,840	△44	△1.6	5,856	47.7	3,060
セグメント利益	80	64	15	23.4	161	49.7	81
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、トラック輸送、倉庫は低調に推移 ・海運は、海外引越が輸出入ともに伸長したものの、設備関連の輸出が減少 ・航空は、輸出重量が増加したが、燃油サーチャージが大幅に下落 ・利用運送費、外注費、燃油費等の減少により、増益 						

2) 米州

	1Q実績	前年同期対比		業績予想(5/10発表)対比			
	17/3期	16/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	209	237	△27	△11.6	415	50.6	205
セグメント利益	7	13	△6	△45.7	20	36.3	12
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコにおいて、トラック輸送や海運・輸出フォワーディングが好調に推移 ・米国、カナダにおいては、前年の西海岸港湾混雑の反動により、航空・輸出入フォワーディングが大幅に減少 						

※以下、セグメント毎の概況は、第1四半期単四半期の内容。海外の第1四半期は、1-3月期。

◇日本・・・減収、増益

個別の売上高の数字をベースとして説明。

鉄鋼、電機をはじめ、国内の荷動きに力強さが見られないなか、

鉄道、トラック輸送、倉庫の各扱いが低調に推移。

海運は、海外引越が輸出入ともに伸長したものの、設備関連の輸出が前年の第3四半期から継続して減少。

航空は、輸出の重量が対前年プラス4.1%と増加したが、燃油サーチャージが大幅に下落。

輸出航空貨物の重量の方面別内訳は、対前年で

米州地域向けがプラス1.1%、欧州地域向けがプラス10.4%、

アジア・オセアニア地域向けがプラス3.1%。

セグメントの利益については、

利用運送費や外注費、燃油費等の減少により、増益。

昨年連結化したワンビシアーカイブズが、売上げ、利益に貢献。

◇米州・・・減収、減益

為替の影響を除いた現地通貨ベースでも、減収、減益。

メキシコにおいては、トラック輸送や海運・輸出フォワーディングが好調に推移したが、米国・カナダにおいて、前年の西海岸港湾混雑の反動により、航空・輸出入フォワーディングの取扱いが大幅に減少。

I. 経営状況



C. セグメント別状況

3) 欧州

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比			業績予想(5/10発表)対比		
	17/3期	16/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	193	202	△9	△4.8	379	51.0	185
セグメント利益	3	4	△0	△6.4	8	47.1	4
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・現地通貨ベースにおいては、増収減益 ・自動車関連や医療・医薬関連の荷動きは堅調に推移 ・スペインにおける、前年の自動車関連の航空・輸出フォワーディング反動減等により、減益 						

4) 東アジア

	1Q実績	前年同期対比			業績予想(5/10発表)対比		
	17/3期	16/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	240	283	△42	△15.1	509	47.3	268
セグメント利益	0	2	△2	△88.2	6	4.7	5
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・前年にあった米国西海岸港湾混雑の反動の影響もあり、航空・輸出フォワーディングが減少 ・香港における倉庫業務の取扱いが減少 						

◇欧州・・・減収、減益

為替の影響を除いた現地通貨ベースでは、増収、減益。

自動車関連や医療・医薬関連の荷動きがあるものの、スペインで前年にあった自動車関連の航空・輸出フォワーディングの反動減等により、減益。

◇東アジア・・・減収、減益

為替の影響を除いた現地通貨ベースでも、減収、減益。

前年の米国西海岸の港湾混雑の影響もあり、地域全体で、航空・輸出フォワーディングが減少。香港における倉庫業務の取扱い減少により、売上げ、利益ともに下落。

I. 経営状況



C. セグメント別状況

5) 南アジア・オセアニア

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比		業績予想(5/10発表)対比			
	17/3期	16/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	164	190	△25	△13.3	367	44.9	202
セグメント利益	4	4	0	12.9	9	54.2	4
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・航空・輸出フォワーディングが、前年の西海岸港湾混雑の反動により、減少 ・新規連結会社が増加したことや、航空利用費の圧縮等により、増益 						

6) 警備輸送

	1Q実績	前年同期対比		業績予想(5/10発表)対比			
	17/3期	16/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	137	136	1	0.8	278	49.5	140
セグメント利益	4	5	△1	△23.1	4	100.8	△0
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の採算業務からの撤退の影響があるものの、前年並みの売上げを確保 ・人に関わる各種コストの増加により、減益 						

◇南アジア・オセアニア・・・減収、増益

為替の影響を除いた現地通貨ベースでも、減収、増益。

航空・輸出フォワーディングが、前年に米国西海岸港湾混雑によるチャーター便輸送等があった反動で、大幅に減少。

新規連結会社が増加したことや、航空利用費の圧縮等により、増益。

◇警備輸送・・・増収、減益

一部の採算業務からの撤退の影響があるものの、前年並みの売上げを確保。

社有戦力のみで業務を行っているため、人に関わる各種コストの増加により、減益。

I. 経営状況



C. セグメント別状況

7) 重量品建設

(単位：億円、%)

	1Q実績	前年同期対比		業績予想(5/10発表)対比			
	17/3期	16/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	105	136	△30	△22.4	259	40.9	153
セグメント利益	7	8	△1	△19.5	13	55.3	5
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・国内においては、シャット・ダウン・メンテナンス業務が増加 ・海外においては、大型プラント工事のピークアウトにより、減収 						

8) 物流サポート

	1Q実績	前年同期対比		業績予想(5/10発表)対比			
	17/3期	16/3期	増減額	増減率	上半期予想	進捗率	差額
売上高	940	1,037	△96	△9.3	1,922	49.0	981
セグメント利益	13	16	△3	△20.7	41	31.9	27
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・石油類の販売単価下落により、減収 ・輸出梱包業務等のロジスティクス・サポート事業も低調に推移 						

◇重量品建設・・・減収、減益

国内においては、シャット・ダウン・メンテナンス業務が増加。

海外においては、大型プラント工事がピークアウトしたことにより、大幅な減収。

◇物流サポート・・・減収、減益

日通商事において、石油類の販売単価が下落したため売上げが減少したほか、

輸出梱包業務等のロジスティクス・サポート事業も低調に推移。

II. 外部環境の変化



増減要素（1Q）

変動要素	連結業績への影響 (1Q)	参考
燃油費単価変動 による影響	燃油費 $\Delta 10.1$ 億円 (費用減)	(前年同期) 軽油 : 74.68円/ℓ (92.75円) ガソリン: 108.82円/ℓ (129.29円) 船舶重油: 31.89円/ℓ (50.28円)
為替による影響	売上高 $\Delta 56.8$ 億円 営業利益 $\Delta 1.2$ 億円	(前年同期) USD : 115.48円 (119.09円) EUR : 127.23円 (134.18円) HKD : 14.85円 (15.35円) RMB : 17.61円 (19.08円)

Ⅲ. 2017年3月期の業績予想



A. 連結業績予想（修正後）

（単位：億円、％）

	2017/3期 業績予想 ①	前年同期対比			業績予想(5/10発表)からの修正幅			
		2016/3期 実績 ②	増減額 ③=①-②	増減率 ④=③÷② x100	期首予想 ⑤	増減額 ⑥=①-⑤	増減率 ⑦=⑥÷⑤ x100	
通期	売上高	18,440	19,091	△651	△3.4	19,300	△860	△4.5
	営業利益	570	547	22	4.1	570	—	—
	経常利益	630	623	6	1.0	630	—	—
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	360	356	3	1.0	360	—	—
上半期	売上高	9,060	9,532	△472	△5.0	9,350	△290	△3.1
	営業利益	235	231	3	1.6	235	—	—
	経常利益	278	276	1	0.5	278	—	—
	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	165	152	12	8.5	165	—	—

Copyright © 2016 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2017年3月期第1四半期 ご参考資料

8

◇修正に至った背景

国内における企業収益の下振れ等による荷動きの低迷により、売上高が減少する状況が継続。
当初は下半期には増収に転ずることを見込んでいたが、現時点において荷動きの回復が期待できず、この状況は下半期に入っても続くものと見込まれる。

海外においても、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化等による輸送需要の減少、円高による為替の影響等により、売上高が当初の目論見よりも落ち込むと予想。

連結の営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益については、利用運送費や外注費等の仕入単価の動向等を勘案し、通期および上半期ともに、予想数値を据え置き。

個別の業績予想についても、通期および上半期の売上高ならびに当期純利益を修正。

Ⅲ. 2017年3月期の業績予想 B. セグメント別状況（修正後）



1) 日本

（単位：億円、％）

	17/3期 業績予想	前年同期対比			期首予想(5/10発表)からの修正幅			
		16/3期	増減額	増減率	期首予想	増減額	増減率	
通期	売上高	11,374	11,583	△209	△1.8	11,885	△511	△4.3
	セグメント利益	405	366	38	10.7	405	—	—
	セグメント利益率	3.6	3.2			3.4		
上半期	売上高	5,617	5,731	△114	△2.0	5,856	△239	△4.1
	セグメント利益	161	143	17	12.4	161	—	—
	セグメント利益率	2.9	2.5			2.7		

2) 米州

	17/3期 業績予想	前年同期対比			期首予想(5/10発表)からの修正幅			
		16/3期	増減額	増減率	期首予想	増減額	増減率	
通期	売上高	856	946	△90	△9.6	846	10	1.2
	セグメント利益	44	50	△6	△13.5	42	2	4.8
	セグメント利益率	5.1	5.4			5.0		
上半期	売上高	431	482	△51	△10.8	415	16	3.9
	セグメント利益	22	27	△5	△19.5	20	2	10.0
	セグメント利益率	5.1	5.7			4.8		

◇日本

物量の大幅な増加が見込めず、荷動きを牽引する材料が見当たらない中で、売上高については減収傾向が続く見込み。

外注費をはじめとした費用のコントロールに努め、利益面では当初見込んでいた金額の確保を図る。

昨年末に資本業務提携契約の締結を発表した名鉄運輸との連携強化も推進。

◇米州

前年の特需の反動が続いたものの、

メキシコでの自動車関連の取扱いにより、

トラック輸送や海運・輸出フォワーディングが好調に推移。

Ⅲ. 2017年3月期の業績予想 B. セグメント別状況（修正後）



3) 欧州

（単位：億円、％）

	17/3期 業績予想	前年同期対比			期首予想(5/10発表)からの修正幅			
		16/3期	増減額	増減率	期首予想	増減額	増減率	
通期	売上高	792	845	△53	△6.4	804	△12	△1.5
	セグメント利益	19	15	3	21.8	20	△1	△5.0
	セグメント利益率	2.4	1.8			2.5		
上半期	売上高	385	410	△25	△6.2	379	6	1.6
	セグメント利益	8	6	1	14.4	8	—	—
	セグメント利益率	2.1	1.7			2.1		

4) 東アジア

	17/3期 業績予想	前年同期対比			期首予想(5/10発表)からの修正幅			
		16/3期	増減額	増減率	期首予想	増減額	増減率	
通期	売上高	1,001	1,150	△149	△13.0	1,115	△114	△10.2
	セグメント利益	16	16	△0	△4.7	17	△1	△5.9
	セグメント利益率	1.6	1.5			1.5		
上半期	売上高	492	574	△82	△14.4	509	△17	△3.3
	セグメント利益	6	5	0	3.2	6	—	—
	セグメント利益率	1.2	1.0			1.2		

Copyright © 2016 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2017年3月期第1四半期 参考資料

10

◇欧州

地域全体において、航空・輸出入フォワーディングの取扱いが堅調に推移。
各種の収支改善の効果が、利益に貢献する見込み。

◇東アジア

前年の航空・輸出入フォワーディングのスポットの反動が大きく、
また香港での倉庫業務の取扱い減少等の影響もあり、低調に推移する見込み。
費用面では、各種コストの改善を推進。

Ⅲ. 2017年3月期の業績予想 B. セグメント別状況（修正後）



5) 南アジア・オセアニア

（単位：億円、％）

	17/3期 業績予想	前年同期対比			期首予想(5/10発表)からの修正幅			
		16/3期	増減額	増減率	期首予想	増減額	増減率	
通期	売上高	723	702	20	3.0	790	△67	△8.5
	セグメント利益	22	15	6	40.2	21	1	4.8
	セグメント利益率	3.0	2.2			2.7		
上半期	売上高	353	367	△14	△4.1	367	△14	△3.8
	セグメント利益	10	8	1	16.1	9	1	11.1
	セグメント利益率	2.8	2.3			2.5		

6) 警備輸送

	17/3期 業績予想	前年同期対比			期首予想(5/10発表)からの修正幅			
		16/3期	増減額	増減率	期首予想	増減額	増減率	
通期	売上高	543	538	4	0.9	557	△14	△2.5
	セグメント利益	12	15	△3	△23.6	11	1	9.1
	セグメント利益率	2.2	2.9			2.0		
上半期	売上高	274	272	1	0.7	278	△4	△1.4
	セグメント利益	5	7	△2	△31.9	4	1	25.0
	セグメント利益率	1.8	2.7			1.4		

Copyright © 2016 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2017年3月期第1四半期 参考資料

11

◇南アジア・オセアニア

前年のスポットの反動で、航空・輸出フォワーディングの取扱いが減少。
新規連結会社による寄与が続く見込み。

◇警備輸送

キャッシュ・ロジスティクスプラットフォーム構築に向け、
金融機関からのアウトソーシングの獲得に努める。
人に関わる各種コストの負担増が避けられない見込み。

Ⅲ. 2017年3月期の業績予想

B. セグメント別状況（修正後）



7) 重量品建設

（単位：億円、％）

	17/3期 業績予想	前年同期対比			期首予想(5/10発表)からの修正幅			
		16/3期	増減額	増減率	期首予想	増減額	増減率	
通期	売上高	439	513	△74	△14.6	486	△47	△9.7
	セグメント利益	27	36	△9	△26.8	29	△2	△6.9
	セグメント利益率	6.2	7.2			6.0		
上半期	売上高	216	275	△59	△21.5	259	△43	△16.6
	セグメント利益	13	16	△3	△19.9	13	—	—
	セグメント利益率	6.0	5.9			5.0		

8) 物流サポート

	17/3期 業績予想	前年同期対比			期首予想(5/10発表)からの修正幅			
		16/3期	増減額	増減率	期首予想	増減額	増減率	
通期	売上高	3,977	4,109	△132	△3.2	4,066	△89	△2.2
	セグメント利益	83	81	1	1.7	83	—	—
	セグメント利益率	2.1	2.0			2.0		
上半期	売上高	1,921	2,072	△151	△7.3	1,922	△1	△0.1
	セグメント利益	37	40	△3	△8.4	41	△4	△9.8
	セグメント利益率	1.9	1.9			2.1		

Copyright © 2016 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2017年3月期第1四半期 参考資料

12

◇重量品建設

国内でのシャット・ダウン・メンテナンス業務の獲得を進めているが、前年までの海外プラント工事のピークアウトの影響が大きいものと見込む。

◇物流サポート

石油類の販売単価下落の影響が、上半期まで継続する見込み。

Ⅲ. 2017年3月期の業績予想



C. 外部要因の想定（2Q以降）

変動要素	連結業績への影響 (2Q以降の9ヶ月)	前提条件
燃油費単価変動 による影響	燃油費 $\Delta 11.6$ 億円 (費用減)	(前期年間平均) 軽油 : 76.60円/ℓ (85.26円) ガソリン : 108.77円/ℓ (120.54円) 船舶重油 : 32.37円/ℓ (42.52円) 使用量は前年と同量と想定
為替による影響	売上高 $\Delta 316.1$ 億円 営業利益 $\Delta 10.4$ 億円	(前期年間平均(※)) USD : 110.00円 (121.05円) EUR : 123.40円 (134.32円) HKD : 14.20円 (15.62円) RMB : 16.80円 (19.22円)

(※) 年間為替レートは参考値。決算では四半期平均レートを、現地通貨建の四半期実績に適用している。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。